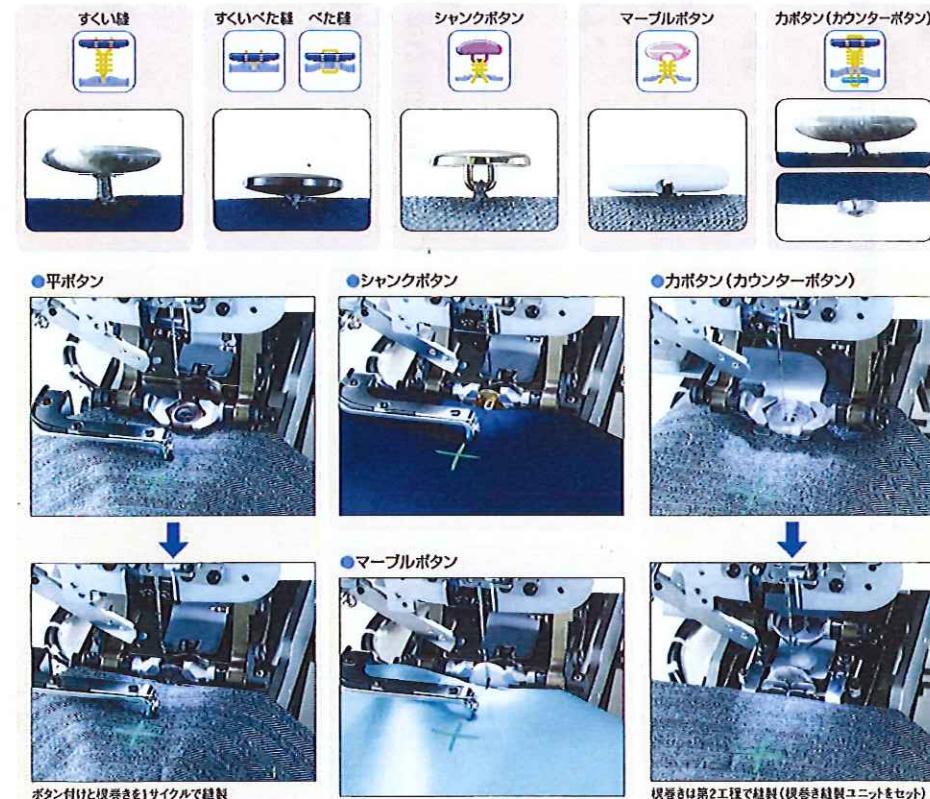


AMB-289

新型アクティブテンションを搭載。
こだわりの美しい縫品質

1台のミシンで平ボタン・シャンクボタン・マーブルボタン・
カボタン(カウンターボタン)付けが行えます。

- カボタン(カウンターボタン)付けを加え、対応ボタンがさらに拡大しました。
- 縫形状・縫方式は、パネルから簡単に切換えできます。
- 身頃側のY送り、ボタン側のX-Y送り、針振りの独立駆動方式の採用により、表ボタンが4つ穴、カボタン(カウンターボタン)が2つ穴など、異なるボタン穴でも縫製することができます。



サイクルタイムを短縮し、生産性を向上

- 縫速度がアップし、生産性が大幅に向上しました。手付け作業に対しては約5倍の生産性が得られます。

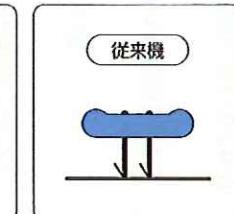
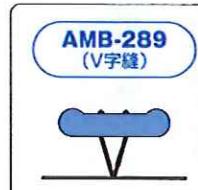
生産性比較

〈条件〉4つ穴ボタン付け
ボタン付け 8針×2、根巻き 10針、
作業時間 8H、余裕率 25%

AMB-289		ボタン付け量/H
専用縫速度	ボタン付け速度 1,000rpm 根巻き速度 1,500rpm	1,986個
従来機AMB-189NR	専用縫速度 ボタン付け速度 740rpm 根巻き速度 740rpm	ボタン付け量/H 1,704個 サイクルタイム 9.5秒/1個+取置き動作 4秒
手付け作業		ボタン付け量/H 417個 サイクルタイム 55秒/1個(取置き動作含む)

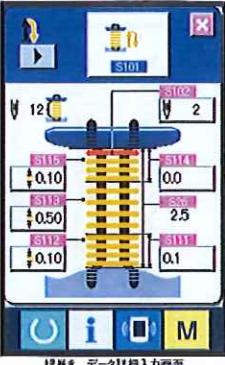
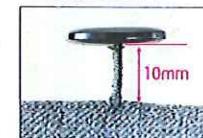
高品質な根巻きを実現

- 4つ穴ボタンでは、すくい位置を1カ所に集中して手縫風(V字縫)に仕上げています。このため、縫裏がきれいになり、根巻きの結節点がそろうなど、縫品質がさらに向上します。



- パネルの根巻きデータ群総入力画面では、細部にわたる品質の調整ができます。根巻きのポイントとなる上部と下部の根巻き配分を調整し、ボタンの遊びや、首の倒れが防止できます。

- 根巻き高さは最大10mmまで調整可能です。



新型アクティブテンション(電子糸調子機構)

- 新方式のアクティブテンションを採用。応答性がさらに向上し、素材変化に対応する微妙なテンション設定が可能になりました。
- ボタン付け時と根巻き時のテンションがパネル上で個別に設定が可能です。
- パターン毎に縫条件を記憶し、その縫を再現します。



縫品質を向上する優れた機能

- 生地や糸の種類に合せて針糸残り長さを調整できます。縫始めの針糸のスッポ抜け防止に効果があります。
- ボタン付け用の専用糸は必要ありません。素材に合せて一般の綿糸/スパン糸が使用できます。糸番号は#60~#30が使用できますから、多様な工程に対応することができます。
- 糸切り時の切断位置を最適な位置にし、糸残り長さを短くしています。
- 最終針で糸結びを確実に行う「ほつれ防止機能」を装備しています。
- ボタン付けの強度を高める力糸が、0~3針までパネル上で設定できます。
- すくい量を5mmまで拡大、ニット地などの柔らかい素材でもすくい量が安定しています。
- 送り精度は0.1mmと高く、正確な針落ちや布すくい量が得られます。

サイクル縫

- ダブルのスーツなど、異なるボタン付け工程を、連続して縫製できます。
- パネル上に縫製アイテムのグラフィックを表示させ、サイクル縫データの設定や編集が可能です。(ボタンの個数、場所、ボタン付け順序)
- サイクル縫に対応して、ボタンローダーは2種類のボタンを供給することが可能です。

